

みなさんの意見をもとに公共施設・病院・駅などを結び

ガウラ号を市内全域に走らせましょう

たとえばこんな風に走らせたらどうでしょうか？

日本共産党は十数年前から主張

日本共産党は十数年前から、全国各地の循環バスの実施状況を調査・視察し「袖ヶ浦市でも運行を」と提案してきました。

当初、市はいろいろと理由を持ち出して拒否してきましたが、とうとう昨年十月から平川地区に「試行運転」という形でガウラ号が走り始めました。ところが袖ヶ浦駅や長浦駅へのコースがないうえ、1台で3コースのため、利用しにくくなっています。

日本共産党は台数もコースも増やして「市民の声にこたえよ」と主張しています。

財源は充分あります

浦安市は5台で年間4200万円（平成14年度）の助成を行っています。

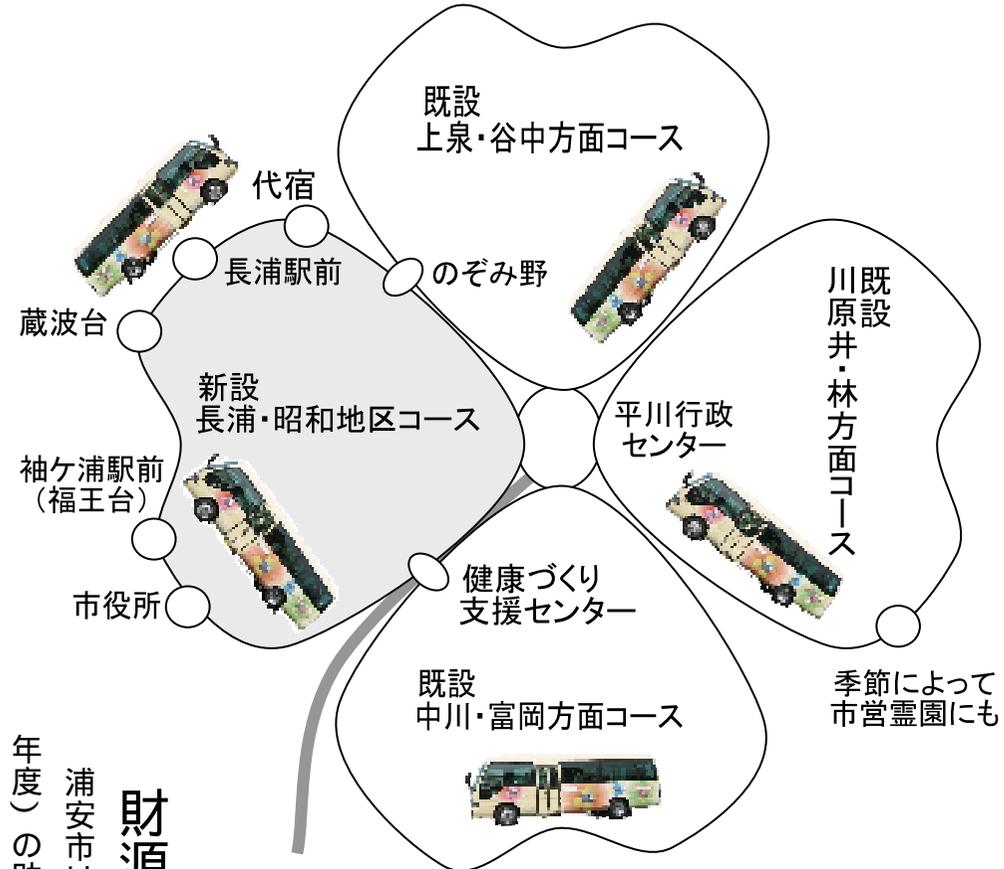
総額200億円の「袖ヶ浦駅北側開発」を見直し、100億円のため込み金など全国有数の財政を生かせば、財源は充分あります。

八日市場市の循環バス

市が助成していた民間路線バスが次々と廃止になるなかで、県内の他市に先駆けて、日本共産党市議の提案をきっかけに市内循環バスが開業。すでに5路線4台で市内を網の目のように運行し、運賃は一律100円。

一便あたり10人（平成14年）乗車で運行経費約5000万円のうち約4000万円を市が助成。

どこでも 市内循環バスは まちづくりの基本



浦安市のおさんぽバス

26人乗り5台で運行。200メートルおきのバス停、料金は100円。朝の7時半から夜9時まで20分おき。路線バスと重ならない住宅街をのんびりと走り、運転手のなかには女性もいて、バスの中は、まさに「コミュニティ」となっています。

一便あたり平均17人乗車で、運行経費の約半分を市が助成。



おさんぽバス

市議会議員
あきば光枝



みなさんの願い実現のためにがんばります

ご意見をお寄せください。

(よろしければ)

お名前

ご住所

お電話

連絡先 60-2630 Fax60-2631